

## 平成26年度定例会でいただいたご意見及び対応状況について

## ご意見

1 イベントを実施するにあたり、参加者の意見・満足度を伺うことが必要。

## 対応状況

1 これまでイベントの実施にあたっては、参加者へのアンケートを実施し、その意見等を参考に、イベント内容の充実や満足度向上を図ってきたところ。  
今年度実施の奈良マラソンにおいては、アンケートで意見の多かったスタート前の寒さ対策として防寒ビニールウェアを配布、また、奈良RUN×2リレーマラソンでは、コースをより走りやすいように変更するなど、改善に取り組んだところ。

2 スポーツの効用と青少年の規範意識の関係性について整理が必要。

2 奈良県トレーニングセンター構想の検討にあたり、平成27年度の有識者ヒアリングにおいて、幼児期における運動・スポーツ活動が、社会適応力やいじめへの対抗力を育み、意欲的な心の育成、規範意識の醸成など人間形成にも役立つとの意見を得たところ。  
平成28年度からは、スポーツ医科学に基づく、幼児期からの年齢・発育発達段階に応じたトレーニング手法等の研究・開発など、奈良県スポーツアカデミー事業として検討してまいりたい。

3 スポーツ施設が不足しているため、地域にある学校施設を活用することが必要。

3 学校行事等で開放日が限定されているものの、県立学校の体育施設については、これまでできる限り地域へ開放してきたところ。  
また、学校施設を地域へ開放することで、totoの施設整備助成要件もクリアできることから、今後は、市町村教育委員会に対しても、toto助成の活用も含め、施設を開放できるよう働きかけてまいりたい。

4 総合型地域スポーツクラブが身近な地域スポーツの振興にどのように寄与しているか整理が必要。

4 総合型地域スポーツクラブは、地域のスポーツ振興のみならず、社会環境が変化する中で、地域における住民意識の高揚や、世代間の交流、高齢社会への対応、地域住民の健康・体力の保持増進など、地域社会の形成にも寄与することが期待されています。  
そうしたクラブの活動を支援するため、県内クラブの活動量調査を実施し、地域における活動が活発なクラブの抽出と要因分析をおこない、クラブの特徴や有効な運営手法等を、支援事業をとおして県内クラブに普及しているところ。  
また、モデル事業として学校との連携事業を実施し、地域との交流イベントや、学校部活動への講師派遣をおこない、学校を中心とした地域スポーツへの働きかけをおこなっているところ。